

2023年10月31日
マックスバリュ東海株式会社

日本気象協会さまによる支援サービス 気象予測を活用した自動発注システムを全店に導入

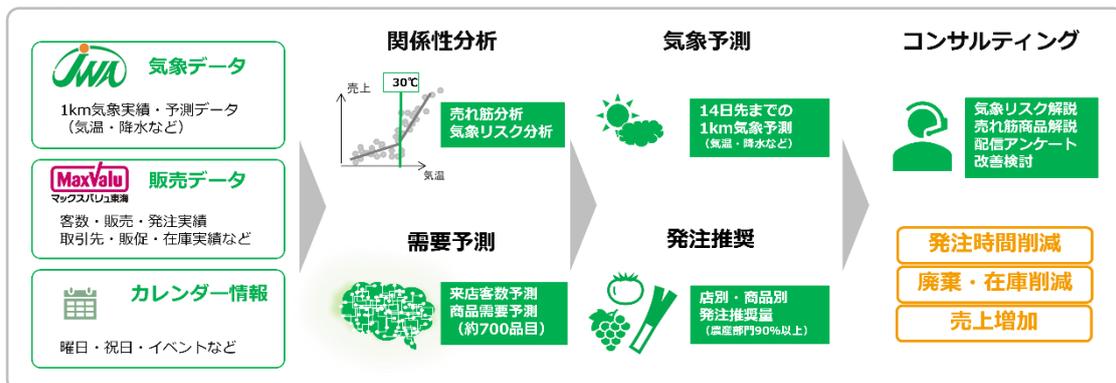
～生産性向上・食品ロス削減に加え、より季節にあった商品提案を～

マックスバリュ東海株式会社（本社：静岡県浜松市東区／代表取締役社長：作道 政昭）は、2023年11月より、一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：渡邊 一洋）が提供する、気象データを活用した生鮮食品の自動発注支援サービスを全店舗の農産部門に導入いたしますので、ご案内申し上げます。

小売業や飲食業の需要は日々の天気の影響を大きく受け、気象条件によって食品ロスや販売機会ロスが生じることが問題となっています。また、近年の人手不足により、データを活用した発注業務の自動化が喫緊の課題となっています。一般的に賞味期限が短い生鮮・日配品の領域ほど日々の需要予測精度が重要です。中でも野菜や果物などの需要は、気温や相場・企画などの影響により大きく変動するため需要予測が難しく、市場仕入れや産地の違い、店内加工などの影響で販売・発注コードが十分に整備されていないことから、自動発注が難しい領域とされています。

2018年度から2022年度にかけて、日本気象協会がNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より受託した「人工知能技術適用によるスマート社会の実現 農作物におけるスマートフードチェーンの研究開発」において、日本気象協会と当社は、気象データとAI技術を活用した生鮮食品の需要予測および自動発注の実現に向け、生産性向上・食品ロス削減を目指した取組みを行ってまいりました。同取組みの中で、長期的に目指す姿の合意や現場のヒアリング、問題点の洗い出し、需要予測の高度化、店舗配信実証などを通して、両社で協力しながら1つ1つの課題を克服し、徐々に発注精度の向上を行ってまいりました。

■自動発注システムイメージ図



想いを形に、「おいしい」でつながる。



マックスバリュ東海株式会社

〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1295番地1
URL <https://www.mv-tokai.co.jp>

【お問い合わせ先】

戦略部 広報・IR・社会貢献グループ
TEL 053-581-7099

今回導入するシステムは、「気象データ」「販売データ」「歳時記データ」などから、発注推奨数を提示していただくことで、発注業務の負担軽減につながり、接客などのより付加価値の高い業務へ取り組むことが可能となります。一部の店舗にて行った実証実験において、発注作業に関わる時間が約19.4%改善いたしました。また同期間における、廃棄金額においても、約5%の改善をしております。さらに、実証実験中における気温の高低差予想にて、シーズン商材のPRに即時対応することができました。

同システムを導入することで、生産性の向上と共に、お客さまに向けて、より鮮度の高い商品提供、気温に合わせた商品提案ができ、お客さまのニーズに合わせた商品提供ができると考えております。

当社は、今後も生産性向上・食品ロス削減を目指し、お客さまにより最適な商品提案を実施するとともに、お客さま満足の向上に努めてまいります。

想いを形に、「おいしい」でつながる。



マックスバリュ東海株式会社

〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1295番地1
URL <https://www.mv-tokai.co.jp>

【お問い合わせ先】

戦略部 広報・IR・社会貢献グループ
TEL 053-581-7099